

猿内地域資源保全会〔気仙沼市〕

地区概要	取組面積：0.7ha（田0.7ha） 資源量：水路0.2km 農道0.2km ため池 一箇所
令和元年度交付金	農地維持支払交付金 21千円 資源向上支払（共同活動）交付金 -千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 -千円
地域の概要	当地域は気仙沼市南部の大谷地区の山沿いにある水田です。 地域は国道45号線によって山側と海側に分かれており、山側は震災後に建てられた住宅街があります。そこを通り抜けると近くには沢も流れている自然豊かな水田が広がります。
取組みの概要	尾根の沢沿いに水田が広がる当地域は、集落の耕作者が僅か2名のみの地域となっており、周辺集落と合同で組織を立ち上げることが難しいことから、活動組織の設立については構成員2名で立ち上げました。宮城県内でも2番目に小さな活動組織となっています。 少ない人数ながらも、時間を決めて農地や農業用施設の点検及び草刈りや水路泥上げなどの保全維持活動を行っています。
取組みによる効果	揃って活動を行うことにより、農地や農業用施設は常に良好な状態になっています。 また、沿岸部にある『NPO法人 はまわらす』という団体に、農地の一部を貸し出し、海側の子どもたちに田植えなどの農作業体験を実施しています。※“はまわらす”とは「浜の子どもたち」という意味です。 日頃、子どもたちと触れ合いができる機会も少ないため、この活動を通じてコミュニケーションが活動の一つの楽しみとなっています。
今後の課題	どちらの地域も同様と思いますが、高齢化により、農作業のできる時間（将来）に不安があります。特に私たちの組織は少数設立で不安なところがありますが、小さな活動組織ながらも、地域やこれからの子どもたちも活動に交え、農業の重要性を少しでも将来に伝えていきたいと考えています。



地域の様子①



地域の様子②



農作業体験（稲刈り）



草刈りの様子



農作業体験（田植え）

